

花と緑の銀行だより

170号 2009.1



ヒメリュウキンカ

目次	・花と緑の提言..... 2	・活動事例..... 5
	・市町村の活動紹介..... 3	・ステップアップ研修を受講して..... 6
	・緑づくりコーナー..... 4	・情報コーナー..... 7



新年のあいさつ

財団法人 花と緑の銀行
理事長 石井 隆一

明けましておめでとうございます。

輝かしい平成21年の初春を皆様とともに
寿ぎたいと思います。

財団法人花と緑の銀行は、昭和48年に設
立され、本年で36周年を迎えます。これま
で花と緑の普及啓発や緑化指導者・グルー
プの育成、花壇づくりの推進など、花と緑に包
まれた美しい地域づくりに積極的に取り組ん
でまいりました。

おかげをもちまして、県民の皆様による地
域ぐるみの緑化活動が進み、県内各地の公園、
学校、公共施設、道路などが花と緑で美しく
彩られていることは大変喜ばしい限りです。

これもひとえに、地域の先頭に立って活動
いただいている地方銀行頭取やグリーンキー
パーの皆様、そして県民の皆様の一方ならぬ
ご支援、ご尽力の賜であり、心から敬意を表し、
感謝申し上げます。

ご承知のとおり、本県は立山連峰から富山
湾に至るまで、変化に富んだ美しく豊かな自
然に恵まれています。

しかしながら、近年、都市化の進行などに
伴い身近な自然が失われつつあり、また、気
候の温暖化、森林の破壊など、環境の悪化も
懸念されています。

一方、多様な自然環境・生態系の重要性が
認識されるとともに、生活にうるおいと安ら
ぎをもたらすガーデニングや花と緑の地域づ
くりへの関心はますます高まっています。

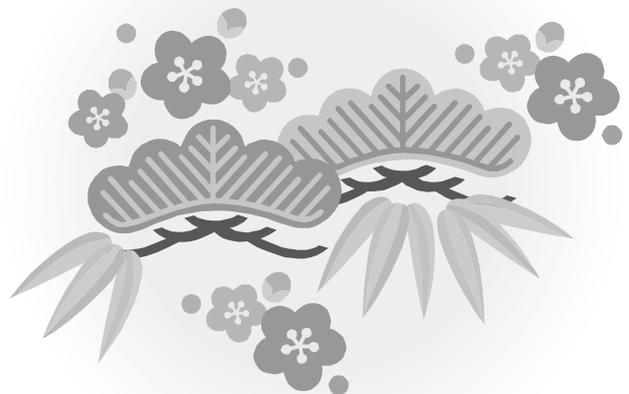
こうしたなか、県では「花と緑の新世紀プ
ラン」に基づき「花と緑といのちが輝く富山」
を目指し、各種施策を計画的に推進していま
す。また、水と緑の森づくり税を活用し、里
山林の整備や森林ボランティアの育成、県産
材の利用促進など、県民全体で支える豊かで

美しい森づくりにも積極的に取り組んでいる
ところです。

花と緑の銀行としましても、「花と緑をは
ぐくむ」、「花と緑にふれあう」、「花と緑をす
すめる」の3つの推進目標のもと、苗木や種
苗の配布、花壇コンクールや各種イベントの
実施、花と緑のグループの活動支援など、様々
な事業を展開しています。特に、一昨年から、
1日花壇教室やコンテナガーデンコンテスト
を開催し、緑化活動の輪が一層広がるよう、
努力しているところです。

今後とも、美しく豊かな自然に恵まれた富
山県が、さらに花と緑に囲まれ、うるおいと
安らぎに満ちたふるさとになるよう全力を尽
くしてまいりたいと存じます。皆様方の一層
のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、皆様方のますますのご健勝、ご
活躍、ご多幸を心からお祈り申し上げまして、
新年のごあいさつといたします。



滑川市の活動紹介

花と緑の銀行滑川支店
滑川市まちづくり課

香川由佳

1.はじめに

本市は、富山県の中央部からやや東北寄りに位置し、北アルプスを背景に加積山麓階と呼ばれる旧扇状地の大地や扇端が海岸線に広がる新扇状地を成し、郷川とこれが合流する上市川下流部を境界に、自然環境に恵まれた田園都市です。

古くから越中売薬で親しまれている「配置家庭薬」の生産地として、また、神秘のひかりを発する「ほたるいか」、「海洋深層水」のまちとして全国的に知られております。

2.滑川市の緑化事業

市では、「ときめき かがやき ひかりのまち なめりかわ」を標榜し、市民参加による花と緑にあふれるまちづくりを目指し、街路樹の植栽、フラワーロードの整備、花壇の設置等を推進し、潤い空間の整備に努めています。

花と緑の銀行滑川支店は頭取9名、グリーンキーパー28名計37名で地区の緑化運動を担っております。そのメンバーで構成される滑川市花と緑の活動推進協議会を平成8年に設立し、さまざまな緑化運動を実施しております。

活動内容としましては、市内公共施設等への花苗の配布等を基本に、地域花壇(置県百年記念花壇3箇所・シンボル花壇1箇所等9箇所)の花苗の植え込みや管理などの活動を行っております。

毎年5月には、国道滑川駅前線中央分離帯(通称「ほたるいかプロムナード」)に地域住民がボラ

ンティアで花苗を植込み、色鮮やかなフラワーロードが出現し、滑川駅からほたるいかミュージアムまでの道のりを花で彩っています。

また、21世紀にちなみ今後百年をかけて2万1千本の桜を植栽する「21世紀桜のまち推進事業」を企画し、本市が桜でいっぱいのまちになるよう桜の植栽・育成を地域住民・事業者・行政が一体となり進めております。

3.滑川市の緑・公園

市を代表する公園として、花菖蒲と平成の名水百選の『行田の沢清水』で知られた「行田公園」や風光明媚な丘陵地にある「東福寺野自然公園」があり、市民の憩いの場となっております。

4.おわりに

これからも、花と緑に包まれたやすらぎとうるおいのある街を目指して、市民・行政一丸となって緑花運動を進めていきたいと考えております。



シンボル花壇への会員による植込み作業



ほたるいかプロムナードへの住民による植込み作業



置県百年花壇「田中花壇」

1987年から15年間の街路樹上位10種の変化

日本樹木医会富山県支部
樹木医 西村正史

道路の両側には様々な街路樹が植えられています。これらの街路樹は、春になると徐々に葉が展開して薄緑色から緑色に変化し、春の訪れを知らせてくれます。また秋になると、徐々に黄葉（あるいは紅葉）し、四季折々のすばらしい景観を提供してくれます。さらに、市街地の温度の上昇を抑えたり二酸化炭素の固定に貢献したりして、温暖化防止にも貢献しています。

ところが、平成20年11月18日の北日本新聞には「プラタナス 主役降板」という大きな見出しで、街路樹の定番であるプラタナスは落ち葉が多く側溝を埋めてしまうことや害虫が付きやすいため住民から苦情が多いということで道路を管理する県や市町村から敬遠され、ハナミズキやヤマボウシが街路樹として植栽されていることが報道されました。

そこで、国土技術政策総合研究所が全国的規模で1987年から2002年まで5年ごとに調べた街路樹の実態調査の結果から、上位10種の樹木を全国レベルと我々に身近な北陸地域について紹介したいと思います。

全国レベルの変化を表-1に示します。特徴的なことは、①イチョウが1位をサクラ類が2位を占めていること、②順位が急上昇したのがハナミズキで、1992年の調査では10

位までに入っていなかったのに、1997年では7位に2002年では4位に上昇したこと、③順位が下がったのはプラタナスであること、などです。

北陸地域の結果を表-2に示します。この地域の特徴は、上位2種がケヤキとイチョウで、前者が1位、後者が2位です。全国レベルでは3位につけていたケヤキが北陸では1位であることが特徴的です。図-1は富山市内の街路樹であり、この地域の1位と2位が街路樹になっている例です。ハナミズキとプラタナスは全国レベルと同じ傾向を示しています。

2002年の結果をみると、全国レベルでも北陸地域でも上位4種はイチョウ、サクラ類、ケヤキ、ハナミズキで占められています。プラタナスは北日本新聞でも報道されたように敬遠されており、そのうち街路樹から姿を消すかもしれません。



図-1 富山市内の41号線の街路樹(左側:イチョウ、右側:ケヤキ)

表-1 街路樹の上位10位までの樹種(全国レベル)

順位	1987	1992	1997	2002
1	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ
2	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類
3	プラタナス類	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ
4	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	ハナミズキ
5	ケヤキ	プラタナス類	クスノキ	トウカエデ
6	カシ類	クスノキ	プラタナス類	クスノキ
7	クスノキ	ナナカマド	ハナミズキ	プラタナス類
8	ナナカマド	日本産カエデ	ナナカマド	ナナカマド
9	シダレヤナギ	モミジバフウ	シラカシ	サザンカ類
10	ニセアカシア	マテバシイ	日本産カエデ	モミジバフウ

表-2 街路樹の上位10位までの樹種(北陸地域)

順位	1987	1992	1997	2002
1	イチョウ	イチョウ	ケヤキ	ケヤキ
2	トウカエデ	ケヤキ	イチョウ	イチョウ
3	ケヤキ	サクラ類	アカマツ、クロマツ類	サクラ類
4	プラタナス類	アカマツ、クロマツ類	トウカエデ	ハナミズキ
5	サクラ類	トウカエデ	サクラ類	トウカエデ
6	ニセアカシア	モミジバフウ	ハナミズキ	アカマツ、クロマツ類
7	モミジバフウ	プラタナス類	プラタナス類	ユリノキ
8	シダレヤナギ	シダレヤナギ	ユリノキ	プラタナス類
9	ユリノキ	ユリノキ	ナナカマド	モミジバフウ
10	カイズカイブキ	ニセアカシア	ヤナギ類	ヤマボウシ

花壇で地域住民のふれあい

ひとほね かだん あいこうかい

一芻花壇愛好会代表

頭取 藤井豊治

(はじめに)

一芻は、氷見市の北西部に位置し、市街地から約12km、標高約200mの台地の石川県境に接する風光明媚なところ。田んぼや小川にはメダカやトンボが数多く生息し、春から秋にかけ山野草の花々から放つ香気は、私達の生きる鼓動をはぐんでくれます。

当地には、古くから人が住んでいたと言われる前田遺跡があり、ここからは土器が570点の他、石やじりや石斧・耳飾りなどが数多く発掘されています。

私達の祖先がここに定住して集落を作ったのは弥生時代後期から古墳時代にかけてと推定され、歴史とロマンのある静かな山村です。

(学校花壇のあゆみ)

昭和50年代から本格的に学校花壇づくりを始め、氷見市立一芻小学校が中心となって花壇の世話を行ってきました。地域の老人会の方々が花苗植えや草むしり等、積極的に協力し、地域に密着した学校花壇となっていきました。

夏のきれいな花の咲く時期には、学校で子供達とお年寄りの方々が花を囲み「花を楽しむ会食会」や「音楽演奏会」等の楽しい行事を行いました。



草むしり後の休憩

この間、学校花壇として市の花壇コンクールや県の花壇コンクールに毎年好成績を残し、努力の結果、平成9年度には「内閣総理大臣賞」を受賞しました。当時、私は市の都市開発課に在職中でしたが、花壇の担当であったことから、その授賞式に同行することになり、総理官邸での授賞式に出席出来たことは、一芻小学校が母校でもある私にとって、かけがえのない喜びと良き思い出となっています。また地域住民にとってもこの受賞は、今も大きな励みと誇りになっております。

(地域花壇へ)

社会情勢の変化から核家族化や少子高齢化が進展し、近年児童数が全国的に減少傾向となってきています。平成17年度には当小学校も児童数が12名と大変少なくなり、このままでは児童の競争心が芽生えにくいことや、次世代を担う子供達が多くの子供達と切磋琢磨しながら学ぶという教

育環境が出来にくいことから、平成18年度に市内の大きな学校に統合となりました。

統合とともに、伝統ある学校花壇をそのまま無くすことは地区にとっても大変忍び難いことであり、今後は学校花壇を地域の花壇として守り育てようとの花壇に対する熱い思いから、新たに「一芻花壇愛好会」を立ち上げ取り組むことになりました。まさに花や地域に対する愛着心が、どれほど強いものであるかが、このことから伺い知ることが出来ます。

(地域の取り組み)

会は、二人のグリーンキーパーを含む会員38名で設立しました。水やりや花がら摘み、消毒等は会で行い、草むしりや花苗植え等は地域全体の方で協力し合っています。

花苗は、サルビアやペゴニア、インパチェンス、コリウス、ペチュニア等約5千本のプラグ苗をビニールハウス内で育てています。それらを花壇の他、公民館やバス停付近に植えたり、プランターに植え道路沿線に配置したりしています。また、見学に来られた方にも無料で配布し、地域一帯が花いっぱいになるよう目指しています。

今、私達は過疎化になりつつある村を少しでも活力と元気が出るように、花壇づくりを通して様々な活動を行っています。

例えば、隣接するミズバショウ園や集落内を散策する「あるこう会」等のイベントを開催したり、温もりのある木造校舎を利用して都市と農村交流(グリーン・ツーリズム)等を実施しています。昨年は、首都圏から大学生を招き、2週間の滞在で花壇の管理を始め、ミズバショウ園の草刈りやハトムギ畑の管理の他、流しそうめんやところ天づくり等地域



あるこう会(ミズバショウ園内)

の方々と楽しく体験・交流を行いました。

このような活動を通して「地域住民のふれあい」と「お互いに助け合う地域づくり」に少しでも貢献出来るものと自負しています。

今後も四季折々の花々を多くの方に親しんでいただき、花とみどりに囲まれた潤いのある村づくりに取り組んでいきたいと思っています。



一芻花壇全景

ステップアップ研修を受講して



富山市三郷地区グリーンキーパー

永井榛五郎

地区からグリーンキーパー就任の要請を受け、3年になります。私は庭木や盆栽には多少興味がありましたが、草花については、まるで関心がありませんでした。こんな私ですが、この度ステップアップ研修の話があり軽い気持ちで受講させてもらいました。

県下から31名が参加、8ヶ月間、20回の講義や実習を受講して草花に対する認識を新たにしました。草花は1年で枯れてしまい盆栽のように長期にわたって育てることができないものと思っていたのですが、その植物に合った育て方、管理をすれば長く楽しむことができるということ。正直、私の草花に対する考えを反省しました。実習の中でハンギングバスケットやプリザーブドフラワーにはじめて挑戦し、家族や訪れた人に喜ばれ、花に対する楽しみを見出しました。これが講義の中にあつた『花と緑のセラピー』：園芸療法のことと認識しました。花を育て、美しい花を見ることは自分の心を癒し、幸せな気持ちにしてくれ、また見る人にも笑顔を届けることができる。私の花を見る目は変わりました。今まで名前すら知らなかった、知ろうとも思わなかった私ですが、店先の花々、道端のポットの花に、自然に目が留まり興味が湧いてくるようになりました。

この研修で得た花壇管理、土づくり等の知識や技術を地域で活かしていきたいと思えます。

また、研修期間中グループの仲間の方々と、それぞれ地域での催しの紹介や花壇の草花を育てての経験談はとても参考になりました。

なかよく親睦を図り、毎回楽しみに受講できました。

ご指導いただきました先生方や花と緑の銀行の皆様にはお世話になりました。ありがとうございました。



舟橋村グリーンキーパー

中村悦子

舟橋村に来てからグリーンキーパーの仲間入りをした私は、ステップアップ研修を中央植物園で受講しました。4月から11月までで、講義を受けたり、6班体制で6つの花壇を利用して、宿根草と一年草の組み合わせ創作花壇の実習をおこなったりしました。これまで、花や樹木など奇麗に咲き誇る時期に見に行くことはよくありましたが、6つの実習花壇の花の移り変わりを観察するのは、初めてのことでした。先生の指導の下で、従来からある宿根草を何本か活かして、一年草を加え各班のイメージの花壇に仕上げるのです。土作りから始まった花壇にイメージに合うように育ってくれるように苗を丹念に植え込みました。

春…ちいさな一年草若草色の葉(トレニアです)。まだ花もまばらで蕾がたくさんある苗は今からとばかりに頑張る準備をしていたかと思われました。

夏…成長の過程でした。

秋…季節に溶け込むかのように赤茶色の葉(トレニアです) 私は、今まで葉の移り変わりまでは、ガーデニングをするとき計算の中に入れていなかったように思います。思わぬ発見をしたように思いました。全体の枠に収められた一部の変化に気づくことだと思いました。

同じ目標を目指すことで、花についての色々なことを聞き、意見交換することで友達ができ、先生や植物園の方々をより身近に感じられたことでした。

環境問題がクローズアップされている現代ですが、先日ヒートアイランド化を防ぐためのこれからの街づくりというテーマで対談されているテレビ放映がありました。地球の温暖化を防ぐために、より多くの緑をと…。海辺から来る風を街に送り冷やしたり、芝生による太陽の遮光であったり、ビルの屋上緑化、屋根の上に緑を一面に敷き詰めたりして、大気の温度を下げる工夫などがこの番組で紹介されていました。

私たちの心が植物によって安らぐなど植物からエネルギーをもらい続けるには、私たち一人ひとりが一本の花や木を育てることが出発点のように思えました。多くの人が身近な自然を愛おしみ共生しながら、環境問題解決の一助になれば素晴らしいと思いました。

この研修で勉強をしたことを、今後地域のグリーンキーパーとして役立てたいと思えます。最後に皆様のご健勝と御活躍をお祈り申し上げます。



全国花のまちづくりコンクールで大臣賞

第18回全国花のまちづくりコンクールにおいて、花のまちづくり大賞農林水産大臣賞（個人部門）を射水市の浅井ひとみさん（写真 左から3人目）が、同国土交通大臣賞（団体部門）を成美花と緑のパノラマ（写真 左から2人目 代表中村良蔵さん）がそれぞれ受賞されました。

浅井さんの花壇は、農家らしい特徴が地域の家並みや景観づくりに寄与していることやそれを支える栽培技術もすばらしいこと、さらには地域の

施設等へのボランティア活動、グリーンキーパーとして地域での活動も幅広く、地元で根ざしたものであることなどが大変高く評価されました。

成美花と緑のパノラマは、成美校下で22年間も活動を続けており、委員会ごとに目標を掲げ、組織的で協調性に富んだ運営をしていること、世代を超えた多くの参加があり地区内外の交流も盛んであることなどが評価されました。



〈お知らせ〉

第19回花と緑のフェスティバルの開催について

生活の中に花と緑を活用した彩り豊かで、安らぎのある生活スタイルを提案する、花と緑のフェスティバルが、中央植物園で開催されます。

開催時期

平成21年2月20日（金）～22日（日）

開催場所

富山県中央植物園 富山市婦中町上轡田42

入園料が必要となります。

（大人400円高校生以下無料）

キャッチフレーズ

「花と緑に親しみ潤いある環境を」

展示内容

コンテナガーデン、県産花き、鉢物、生け花、盆栽、おもと、花のデコレーション、フラワーデザイン、押し花、プリザーブドフラワー、フラワーボトル、木工製品等

体験・実演・教室

親子でウッディークラフト、庭木の剪定管理、盆栽、おもと・生け花、押し花、フラワーボトル・フラワーアレンジメント、ガーデニング、プリザーブドフラワー、飛ぶタネの模型づくり（小学生対象）
・交流の促進（植物園内でのクイズラリー）
・物品販売（草花タネ、球根、切り花、鉢物）

問い合わせ

第19回花と緑のフェスティバル実行委員会事務局
（財）花と緑の銀行普及研修部
（TEL 076-466-2425）

表紙・裏表紙写真提供
成瀬博行（富山市）

表紙： ヒメリュウキンカ（姫立金花、キンポウゲ科）ヨーロッパ、北米などに分布する多年草
野生化したものが見られ、3～5月に開花
裏表紙： 大沢野船倉台地から望む剣岳



大沢野船倉台地から望む剣岳

花と緑の銀行だより 170号

発行日 平成21年1月

編集発行 財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org>

富山県花総合センター

〒939-1383 富山県砺波市高道46-3

TEL 0763-32-1187

FAX 0763-32-1219

ホームページアドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1692/1692.htm>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>

